（調査様式１）

１．　自己評価及び外部評価結果

作成日　令和5年12月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103524
法　人　名	医療法人 起生会
事 業 所 名	ハートフル 林
所　在　地	鹿児島県鹿児島市武二丁目32番19号 （電 話）099-257-6977
自己評価作成日	令和5年11月17日

※事業所の基本情報は，介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ＮＰＯ法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ケ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年12月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

感染予防対策に十分配慮しつつ、コロナ禍で希薄になっていたご家族や知人の方との交流を出来るだけ取って頂けるよう、面会をはじめ、ご家族も一緒に外食レクを行ったりしている。また、近隣の保育園の子どもたちとの交流は、試行錯誤しながら可能な限り行っている。医療体制については、同法人の医療機関、24時間体制の訪問看護の導入、他科往診等体制を整え、ご本人様、ご家族が安心してお過ごし頂けるよう整備している。理念に掲げている、「思いやりと優しさ」の心で職員一同介護を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点，工夫点（評価機関記入）】

・当事業者は近くに母体医療機関や関連施設があり、24時間医療連携体制が整っており、週1回の訪問看護を導入し健康管理を行っている。
・町内会に加入し近隣の保育園児や託児所の子供達との交流で事前に時間帯を決めての交流を楽しんでいる。卒園児とのプレゼント交換等の交流や地域住民との挨拶交流もしている。
・コロナ感染症5類への移行後、予防対策をとり相談室での対面の面会や希望に応じて外出・外泊もできるようにして、家族の協力で墓参りや買い物、外食等、関係継続の支援を行っている。
・食事を楽しめるよう季節の行事食、昼食の食レクリエーションでホットプレートでたこ焼きやピザ・お好み焼きを作ったり、誕生日には家族も一緒に外食する等の工夫をしている。
・年2回火災に関して避難訓練をしている。1回は消防署立会で昼夜間想定の避難訓練と地震や水害に関して垂直避難訓練の自主訓練を実施している。法人施設や関連施設との協力体制の構築をしている。

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価 実施状況	外部評価 実施状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり，管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	常に理念を念頭に安心、安全の介護を目指し、その人らしい暮らしの提供を心掛けている。	理念は全職員で考え作成している。玄関・事務所・各階フロアに掲示しパンフレットや重要事項説明書にも掲載している。職員のネーム裏にも記載している。月1回ミーティングでケアを振り返り、毎年理念について全員が記載し振り返って支援に活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう，事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くの託児所や保育園との交流があり、近くの公園に散歩に行った際も来ている方々に挨拶し交流を深めている。	町内会に加入し、町内会便りで情報を得ている。地域夏まつりは「くじ」での参加となった。託児所や保育園児が寄ったり、敬老の日には肩もみや卒園児の訪問でプレゼントをする等、交流を深めている。地域住民との言葉も交わしている。高校生の介護実習生の受け入れも行いサマーボランティアの説明会にも参加している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	感染症対策により、なかなかそのような場を設けることが難しい状況だった。運営推進会議にて施設の状況を報告しご理解いただいている。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者からの地域の取り組みや近況報告を受けホームで活かせるところは活かしている。空室が出た際も新規の方を紹介していただいたりしている。	2ヶ月に1回対面での開催や書面で行い、利用者や職員の現状報告やコロナ発生状況、面会について等を報告し、議事録を送付している。イベントの紹介やフェスティバル案内等も行い、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り，事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら，協力関係を築くように取り組んでいる。	市役所の方々と連携し相談員の方に来所して頂いたり、介護保険の更新など行っている。入所申請者集計等も報告している。	市担当者とは窓口に出向き、書類申請や介護保険の更新、電話での相談等を行っている。生活保護担当者とも意見交換し協力関係を築いている。介護相談の受け入れを行っている。市主催の研修会にも参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており，玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的な勉強会を行い全職員で身体拘束に繋がらない支援を常々考えながらケアしている。	マニュアルを基に身体拘束廃止委員会を3ヶ月に1回、身体拘束についての勉強会を年1回、薬剤管理は薬剤師の講師で勉強会も実施している。不適切言葉がある場合はその都度注意し合って身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中の玄関施錠はせずに外出希望時は職員同伴で散歩支援をしている。	

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 　管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	定期的に勉強会を行い、日頃のケアの仕方が虐待に値しないか声かけ等注意しケアするように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 　管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修を行い学ぶ機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 　契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時、しっかり説明を行っている。入所後も面会時や、電話でのお問い合わせ等近況を報告したり、尋ねられたことへもしっかりと返答できるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 　利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご意見箱を設置している。苦情受付も担当を決め第三者委員も明確にしている。(重要事項説明書に記載して入居時、説明している)	利用者からは日常の会話の中で、家族からは面会や電話・届け物の際に利用者の状況を説明後に意見や要望を聞いている。コロナ感染5類移行後、相談室で対面面会、希望時の外出、外泊で触れ合う機会を設け「ハートフル林便り」文書での連絡を行い意見など表せる機会を設けて支援に活かしている。	

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングやカンファレンスにて職員の意見を聞き、それ以外でも都度意見があれば相談しやすい雰囲気作りを心掛けている。	管理者は職員から日常的に意見や相談を聞いている。個別に年1回の面談や必要時に面談している。介護部部長と管理者は月1回の合同ミーティングやカンファレンスで話し合いを行なっている。意見はケア内容が多く全職員で話し合い、個別に応じてケア支援している。介護記録に残し情報共有している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課、面談にて評価する制度が整っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	感染症対策にて以前より研修の機会が減っている。徐々にリモートにて研修参加している。月一のミーティング時、勉強会の時間を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	母体となる病院に「理事長のおごり自販機」が設置され交流の機会が設けられている。多職種の職員と顔見知りになる事でサービスの向上に繋がっている。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の面談や入居時に、本人様、ご家族の要望や困りごと等しっかりと傾聴し入居後もコミュニケーションを図り安心して暮らせるよう心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の面談や入居時に、本人様、ご家族の要望や困りごと等しっかりと傾聴し入居後もコミュニケーションを図り安心して預けて頂けるよう心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	しっかりとアセスメントしている。ADLに応じた支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	しっかりと声かけを行い自身で出来る事は、ゆっくりと見守り、一部介助にて行っている。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価 実施状況	外部評価 実施状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族にご協力頂けるところは協力頂きホームに足を運んで頂くきっかけを作っている。外食レク等ご家族へも声かけしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	制限がない限り本人様の要望に合った支援を心掛けている。	家族との面会は相談室でゆっくり過ごしたり、頻回の面会もその都度対応し、外出や外泊にも対応している。年3回広報誌を発行し活動写真を掲載し家族へ送付している。自宅まで一緒に行ったり、家族と馴染みの美容院や墓参り・買い物に行く等、馴染みの人や場所との関係が途切れない支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	フロアにて他者と交わることで、入居者同士の助け合いの場や役割を分担し過ごして頂けるよう職員は仲介者となり関係を築きやすいよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつでも相談できるよう一階には入口横に相談室がある。その他の対応も随時行っている。		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時アセスメントし本人確認を行いできる限り意向に沿えるよう努めている。困難な場合も日頃の行動、ご家族の助言をもとに支援方法を検討している。	日頃のコミュニケーションを通して個々の思いや意向の把握に努めている。入所時の生活状況を基に声かけし表情や行動の変化を家族の助言をもとに本人中心に検討し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様やご家族に情報をもらい把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前の生活リズムをお聞きしお一人お一人に会った過ごし方ができるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員間でカンファレンスを行い介護計画を立てている。三カ月ごとにモニタリングを実施している。	利用者の意見をもとに、家族・職員・ケアマネージャー参加の担当者会議で意見交換し、アイディア等を反映し現状に即した介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎、見直しは6ヶ月毎で状況変化時はその都度見直し、現状に即した介護計画にしている。	

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、言動や行動を個別記録し変わったことがあれば職員間で申し送りを行い、個別ケアに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職員間では対応できない事でも他部署や他科病院と連携、協力しいろいろなニーズに対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩や買い物、外出を行い地域の方と触れ合える機会を作っている。また近くの保育園や託児所の園児と交流する時間も設けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様、ご家族の希望されるかかりつけ医で対応できるよう支援している。往診、訪問診療以外の病院へはご家族の協力頂き、ヘルパー対応もできるようになっている。	本人や家族の希望で全員協力医療機関がかかりつけ医となり、職員対応で月1回定期受診し、数名が月1回の訪問診療受け、必要時往診もある。週1回健康チェックをしている。訪問看護ステーションと24時間医療連携体制で情報交換し適切な医療が受けられるよう支援している。他科受診は基本的に家族対応である。	

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携加算をとっており、24時間看護師との連携体制ができている。週1回の訪問看護体制も整っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	介護サマリーの提供、病院の連携室の方とも密に連絡を取り1日でも早く退院できるよう動いている。同法人の病院の職員とは「理事長おごり自販機」でふれあいの場が増えたり、研修等でも意見交換する機会がある。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時、重度化した場合の対応に係る指針、終末期医療の意向についての説明を行い同意して頂いている。状態変化時、その都度、主治医、ご家族、職員にて話し合い今後の方針を決め支援している。	入居時、重度化した場合や終末期医療について説明を行い、本人、家族の意向確認を行い同意書を貰っている。状態変化時はその都度主治医の説明後家族の意向を確認し、職員と話し合い方針を共有し支援している。家族も宿泊し関係者とチームで看取り介護支援している。看取り介護について年1回研修、看取り後もミーティングしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	24時間看護師との連携体制が整っておりフローチャートがすぐ確認できるところにある。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災に関しては年2回、地震、水害に関しては年1回、避難訓練を実施している。同法人施設、近隣施設と協力体制を築いている。	火災避難訓練を年2回、内1回消防署立会で昼夜間想定で実施し、自主訓練を地震・水害に関して垂直避難訓練を行っている。法人施設や近隣施設の協力体制を築いているが、訓練への参加はしていない。事業継続計画を策定している。備蓄は水・缶詰・レトルト食品・乾麺等を3日分、カセットコンロとガスボンベも準備している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に声掛けを行い介入している。お一人お一人の人間性を尊重しケアしている。	接遇研修を年1回実施し言葉遣い等、配慮して声かけしている。入室時のノックやトイレ誘導時の声かけ、名字でさん付けで呼び、ケア前も声かけで介入し誇りやプライバシーを損ねない対応をしている。各階の事務所で利用者に内容がわからないように申し送りをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の関りの中で発言や行動に目を向け、思いがくみ取れるよう支援している。質問等も答えやすい質問を投げかけるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度の一日の流れは決まっているが、本人様の気分に合わせ対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご自分でできる方は見守り、出来ない方に関しては季節に会った服を選んだり、整髪、顔清拭等行い清潔に過ごして頂いている。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食レクや外食レクを実施したり、お祝い弁当を発注したり食事を楽しむ機会を作っている。	職員が献立を作成し交代で調理している。個々に応じた食形態でミキサー食なども提供している。利用者と一緒に下ごしらえやテーブル拭きはコロナ感染期間から現在もしていない。季節行事食やレクリエーションでホットプレートでたこ焼き・ピザ・お好み焼きをしたり、誕生日は外食やお祝い弁当で楽しむ機会を作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食、摂取量をチェックし本人様に合った量を提供している。月に1度は連携する部署に管理栄養士にて指導して頂きバランスよい食事を提供できるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後職員見守りの中実施している。介助が必要な方も口腔ジェルやスポンジブラシ等使いしっかり行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表によりお一人お一人の排泄パターンを把握できている。声かけ誘導も行い出来るだけトイレにて排泄できるよう支援している。	排泄チェック表で個々人の排泄パターンを把握しトイレでの排泄支援をしている。リハビリパンツにパット、オムツの人も2人介助で定期的にトイレ誘導し排泄ができるように改善している。夜間のみポータブルトイレ使用の人もいる。	

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取に気をつけたり、日々の体操や食べ物にも気を付けている。トイレ使用時の腹部マッサージや体制等助言しスムーズに排便できるよう支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的に週2回、曜日も決まっているが、本人様の希望やタイミングに合わせて変更もしている。	入浴は週2回、午前又は午後になることもある。浴槽に入る方が多くシャワーチェアー使っての支援もある。同性介助を行い、入浴剤を使用し楽しめるようにしている。入浴拒否時は職員交代や声掛けの工夫、時間調整で気分転換をして支援している。清拭や陰洗で清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1日を通して入床時間は自由である。リネンを常に清潔に保ち汚れた際は都度洗濯している。空調、寝具調整も本人様に確認し行っている。温度計も備わっており確認できる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師により薬の管理を行い指導されている。薬剤表もファイルしており確認できるようにしている。体調に変化があれば主治医や訪看に報告し対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外食レク、食レクを通し本人様の希望に添えるよう気分転換に繋げるよう支援している。日々のレクリエーションにて楽しみ、生きがいに繋げられるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	予定を立て行きたいところへ可能な限り行けるよう努めている。その際、ご家族の協力も頂いている。	天気の良い日は玄関先で外気浴、日光浴、近隣の散歩の支援をしている。年間計画を作成して実施している。コロナ感染5類変更後は家族の協力で受診後にミニドライブや外食・外泊等に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本は金庫にてお預かりしている状況ではあるが、人によっては自身で所持している方もいる。欲しいものをいつでも購入したり、頼まれたら代わりに買い物へ行ける状況である。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	いつでも家族や知り合いの方と自ら電話や連絡が取れる状態である。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ロールカーテンで光の調整を行い、窓の開閉で風の心地よさを感じて頂いている。清掃、消毒、換気は都度行い衛生面には特に注意を払っている。季節の花を飾ったり、季節に応じた壁画づくりを利用者様、職員で行っている。	共用空間はエアコンや空気清浄機を設置し、採光や換気・清掃・消毒を行い、過ごしやすい環境づくりを心がけている。季節の花を飾ったり、利用者の作品やクリスマスツリーを眺めて楽しんだりしている。利用者は好きなテレビを見たり、新聞を読んで過ごす等、居心地の良い空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間において、ご自身の席を決めてはいるが、状況に応じて席替えをしたりして様子を観ている。お一人で外を眺めたり、テレビを観たり出来るよう椅子を配置している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の意見を取り入れ、居心地の良いようにベッドや家具を配置している。使い慣れた生活用品を身近に置くよう配慮している。	居室はエアコンや電動ベットを設置し、寝具類は本人持ち込みである。生活用品として衣装ケースやハンガーラック・位牌・テレビ・ラジオ・鏡・ぬいぐるみ・家族写真等があり、居心地よく過ごせるようにしている。必要時、車椅子等を傍に置いている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室の前には、ご本人のお名前、目印となる写真等を掲示している。居室やフロア、トイレ、風呂場に手すりを設置し安全に安心して生活出来るように整えている。		

Ｖ　アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 （参考項目：23,24,25）		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 （参考項目：18,38）	○	1 毎日ある
			2 数日に１回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 （参考項目：38）	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 （参考項目：36,37）		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 （参考項目：49）		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 （参考項目：30,31）		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 （参考項目：28）		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 （参考項目：9,10,19）	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 （参考項目：9,10,19）		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に１回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して，地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり，事業所の理解者や応援者が増えている。 （参考項目：4）		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は，活き活きと働けている。 （参考項目：11,12）	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない